

(様式1)

学校番号 (小・中) 007)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(曳馬中) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

学校の教育活動を充実させるため、令和6年度の基本的な熟議は今年度も継続する。具体的には以下のことについて熟議していきたい。①生徒ひとりひとりに活躍の場を与えること、②学校に多様性を浸透させる、③ICT教育の推進、④休日の部活動移行を円滑に進めること、⑤教員の活動や地域住民による学校支援活動を上手に発信すること。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

学校側より提示された資料で熟議することができた。前年度の校長先生より引き継がれた部分をより良い方向や段階を上げるような感じが見受けられ、それらに対しての熟議することができた。意見交換を重ねる中で、学校運営の基本方針もより明確になった。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

学校側からは特に学校支援活動に対する要望はなかったので熟議することはしなかった。今後の部活動への関わり方の説明や、気になる点への話し合いは十分にできていると思うが、学校運営協議会発信の活動は少なかった。ただ、第1回で話題にあがった不審者対応訓練を実施できたことはよかった。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

協議結果の情報発信は誰でも閲覧できるようにする必要があるが、実際どれだけの人が関心をもって見るかは不明で、今後どのようにしたら関心を持ってもらうことができるかを考える必要がある。前年度よりも学校活動のブログ掲載が増えて、興味を持って確認する保護者が増えていると思うので、内容等が分かりやすいものにした方がよい。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

中学生による地域防災活動を含むボランティア活動の活性化につながる仕組みづくりを熟議していく。